

おおたわら 社協だより

2018
4月号

Ohtawara Shakyo Dayori

発行所 大田原市浅香3-3578-17
大田原市福祉センター内
社会福祉法人
大田原市社会福祉協議会
発行人 会長 津久井 富雄
発行日 平成30年4月1日
印刷所 (有)アート美術印刷

(第209号)

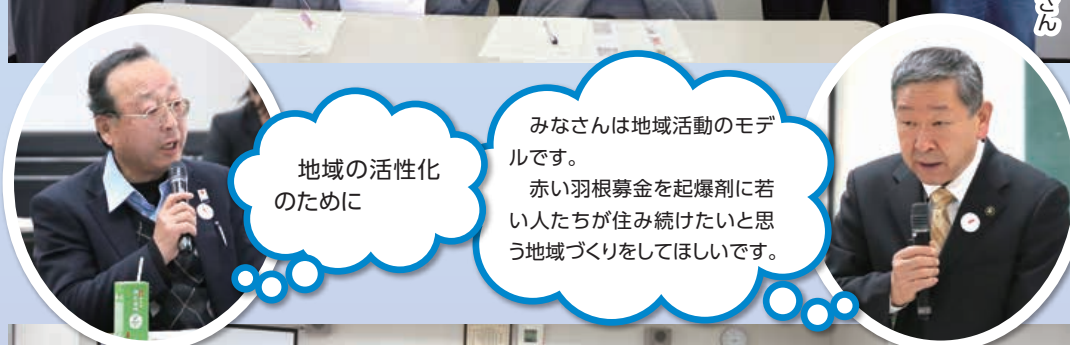
みなさんからの募金で、私たちも地域を元気にします!



日頃の活動を熱く語ります!



「おおたわらを良くするしくみ
赤い羽根共同募金
応援助成事業」スタート



共同募金会大田原市支会は地域の新たな福祉課題の解決に向けて先進的に取り組む事業を公募し、助成する事業をスタートしました。審査委員会で各団体からの活動説明の結果、7団体に総額300,000円の助成を決定しました。

目次

P1 …… 赤い羽根共同募金審査委員会

P2 …… おおたわら小・中学校福祉教育
(ふくし共育)研究会他

P3 …… 寄付報告・会員会費募集・共同募金報告

P4 …… 「ささえ愛おおたわら助け合い事業」スタート

P5 …… 墓地清掃サービス事業
生活窮困者自立支援事業

P6 …… 新採職員紹介・あすてらす・行事予定

裏面から ボランティア情報紙「だいすき」

P1 …… ボランティアグループ紹介

P2 …… ボランティアコーディネーターとは

おおたわら 小・中学校福祉教育 (ふくし共育)研究会 (1/26)

市社協では、次代を担う児童・生徒の福祉に対する正しい理解と関心を高めることをねらいに、福祉教育副読本「ともに生きる」(小学校1・2・3年用・4・5・6年用・中学生用)を平成4年から発行しています。

今年度、第6回改訂に

あたり7月に設置した研究会では、市内小・中学校教員と地域の方へ地区社会福祉協議会、障がい当事者などが3つの部会ごとに熱心に話し合い、1月26日の第2回全体会をもって改訂作業が終了しました。

研究会を代表し池澤紀子会長より、津久井富雄市社協会長へご報告いただきました。

「ともに生きる」改訂に 反映されているポイントを 報告しました

- ①「ふくし」は、高齢や障がいのことも含め、自分もみんなもしあわせに暮らすことであり一人ひとりに関係のあること
- ②地域の方とのかかわりが大切であり、誰もが地域で支え合って暮らしていくこと



津久井富雄市社協会長へ
池澤紀子会長より
研究会の報告

安心生活見守り事業 推進会議 (2/5)

大田原西地区公民館で、12地区見守り組織代表、見守り隊地区主任が参加し「安心生活見守り事業推進会議」が市主催で開催されました。

各地区で行っている見守り活動や生活支援活動について、地域での取組状況が発表されました。また、国際医療福祉大学准教授林和美氏が「おたがいの顔が見える地域づくり」と題し、講義がありました。

地区の 取組状況の 発表



10年後、自分が住む地域

自分たちが
必要とする地域を
イメージ

子どもたち、
高齢者は
生き生きしている?

どんな地域で
あってほしい?

地域の人
は輝いている?



住民主体の共生型社会を作しましょう

黒羽見守り隊 黒羽地区社会福祉協議会 合同研修会 (2/19)

「黒羽見守り助け合い隊・黒羽地区社協」合同で研修会を開催しました。国際医療福祉大学准教授林和美氏「地域福祉新時代」我が事・丸ごとの視点」と題し、黒羽地域の現状と課題を把握し、この先10年後どんな「黒羽地域」であってほしいか等、実現に向けた地域づくりについて講話をいただきました。また、大田原警察署宇賀神交通課長による、「高齢ドライバーの事故パターン」、「道路横断中の事故回避」など交通安全対策の講話を聞き、出席者全員に夜間歩行事故防止の「反射タスキ」が配られました。



交通安全対策のポイント

- ①横断の前にひと呼吸、左右確認
- ②昔からある生活道路と交差する広い道路に注意!
- ③夕暮れから夜間・早朝は反射材を付けて!

地域福祉時代

我が事・丸ごとの 視点から



さくやま男メシ 佐久山地区 (2/27)

日頃、台所に立つのは女性が多く、男性は料理する機会は少ないようです。

また、男性は定年などで仕事を辞めた後、高齢になると外出をしない傾向にあります。

そこで、佐久山地区では60歳以上の男性を対象に、佐久山地区公民館で「男の料理教室」を開催しました。

当日は、12名が参加し、市の管理栄養士の指導により4品を作り、みんなで食べて楽しく盛り上げました。



慎重に切って



《メニュー》

煮込みうどん・野菜のなめたけ和え
ふりふりポテト・フルーツヨーグルト

寄付報告

平成30年1月16日から平成30年3月15日までに、社会福祉のためにお寄せいただいた寄付の報告です。皆様の温かい善意に心より感謝申し上げます。

大田原市社会福祉協議会寄付

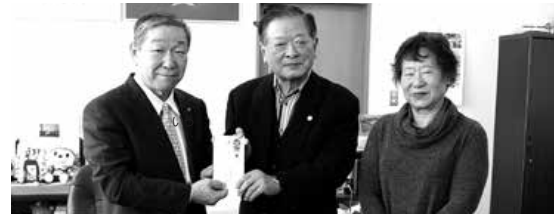
♥ JUKI栃木JUKI労働組合大田原支部 様	20,000円
♥ 黒羽商工会青年部 様	47,082円
♥ カラオケスタジオ ^{いっ} ちゃん 様	20,000円
♥ とんかつれすとらんたちばな大田原店 様	8,722円
♥ 大田原市職員組合 様	30,000円
♥ 栃木二コン親睦会 様	907円
♥ 栃木県立大田原高等学校生徒会 様	39,125円
♥ 齋藤 信恵 様	10,000円
♥ 齋藤 哲夫 様	10,000円
♥ 大田原生活学校 様	30,000円
♥ 匿名	30,000円

大田原市善意銀行寄付

♥ 大田原市福祉ふれあいまつり実行委員会 様	109,354円
♥ 栃木県立大田原高等学校生徒会 様	雑巾140枚
♥ コーヒーカップ 様	車いす1台
♥ 栗原 敏子 様(449回・450回)	60,000円

大田原市地域福祉基金寄付

♥ 大田原ライオンズクラブ女性部 様	30,000円
--------------------	---------



大田原市福祉ふれあいまつり実行委員会 様



JUKI栃木
JUKI労働組合大田原支部 様



大田原市職員組合 様



黒羽商工会青年部 様



栃木県立
大田原高等学校生徒会 様

大田原市社会福祉協議会 会員加入のお願い

大田原市社会福祉協議会の会員とは

- 普通会員（1世帯あたり年会費500円）
☆5月に自治会単位で加入をお願いします。
☆自治会未加入の方で、社協へ加入していただける方はお手数でも、事務局へご連絡ください。
- 特別会員（年会費、1口1,000円）
☆6月に会社、事業所、商店、篤志家の皆様に、郵便で加入依頼をいたします。
- 賛助会員（年会費、1口5,000円）
☆6月に社会福祉施設などに郵便で加入依頼をいたします。

会費の使いみち

ふだんのくらしの

しあわせのための活動に使います

- ◎市内12地区の地区社会福祉協議会活動費
- ◎市内174名の福祉委員の活動支援
- ◎社協だより、社協ホームページの作成

本年度もぜひ多くの皆様が会員になってくださいますようご理解とご協力をお願いいたします。
(会員加入は年間を通して受け付けております。)

平成
29年度

特別会員 ブルーベリーの森 様（1口）

赤い羽根共同募金のご報告

●募金実績額（平成29年度）

種 類	件 数	募金額
戸別募金 (一般世帯)	16,346	5,725,275円
特別募金 (会社、事業所、店舗、個人)	1,247	3,081,140円
学校募金 (幼稚園、保育園、学校)	41	382,289円
職域募金 (事業所従業員)	100	532,807円
街頭募金 (店舗前など)	31	339,478円
イベント 等 (募金箱、イベント会場)	40	258,498円
合 計	17,805件	10,319,487円

お預かりした募金は、栃木県共同募金会を通じて配分され、約7割が大田原市内の福祉活動に活用され、ボランティア団体、食事サービス活動への助成、小・中学生向け福祉教育副読本「ともに生きる」の作成、地域の団体への公募助成などに役立てられます。

また、残りの3割は栃木県内の福祉施設や災害時支援活動に活用されます。

募金にご協力をいただきました皆様に心からお礼を申し上げます。



「ささえ愛おおたわら
助け合い事業
(生活支援体制整備事業)」
第2層協議体

本格的に スタート

平成30年4月からに生活支援体制整備事業が本格的にスタートします。大田原市では、「ささえ愛おおたわら助け合い事業」と愛称を付け、今後協議を重ねていきます。

大田原市では、市全体に関する話を話し合う第1層協議体が既にできており、更に地区ごとに話し合う第2層協議体が全市12地区に出来上がりしました。今後は、話し合いを行い、様々な問題、意見、アイデア、活用できる様々な団体などと協働しながら「できること」から始める取り組みが進んでいきます。

今まさに地域包括ケアシステムの目玉は、生活支援体制整備事業「住民相互の助け合いの仕組みづくり」にあると言えます。

ここで大切な目標は、2つです。

① みんなで介護予防

自分だけではなく、みんなと一緒に元気になろう

② みんなで地域づくり

誰もが住み良い、支え合いの地域づくりをしよう

そこで、「協議体」が必要になります。協議体は、自分たちの地域でどのような問題があるか、また、どのようなことができるかなどを話し合いながら「できること」を見つけていきます。一度に何でも解決することはできませんが、徐々に情報を集め、皆で共有しながら、新しい気づきやアイデアを見つけることができます。

【ポイント】

① 平等

支援する側と受け手に分かれるのではなく、平等な立場で考える

② 役割

みんなが役割をもてるように工夫して行う

③ 支え合う

お互いに支え合う

④ 地域コミュニティ

自分らしく活躍できる地域コミュニティを育てる

⑤ 協働で助け合い

公的なサービス、NPO法人、民間のサービスなど多彩なサービスや取り組みと協働して、助け合う

この5つのポイントを大切にしながらみんなで住み慣れた地域で暮らし続けられるように必要な生活支援を構築して行きます。

地域で活動する時に こんな思いはありませんか？

小地域 福祉活動 計画

何だか地域がバラバラに活動しているような感じ・・・。

行事をやるのが目的になって、本当の目的が分からなくなった。

いつも同じメンバーばかりでやるのは大変だ～。

事業したくても予算がないな～

我が自治会には、高齢者は少ないけど、子どもの見守りが必要かも。

ボランティアをしたけれど、何をしたら良いか分からない。

小地域福祉活動計画をついたら…

- ★自分たちの住む地域の身近な計画なので、優先順位・重点項目などを決めて、出来ることから取り組める。
- ★上手く行っているかを振り返ることで、次の課題を明らかにしていくことができる。
- ★地域の課題や目的などを共有することで、皆が同じ方向性をもって活動できる。
- ★計画書を作ったら、地域の人に知ってもらうことで、理解や協力を得やすくなる。
- ★地域の課題を考え、計画を作っていくことで、一人ひとりが地域づくりをする意識を育てることができる。

小地域福祉活動計画とは、
身近な地域の福祉課題に気づき、
みんなで話し合い考え解決していく
ための計画です。



自分たちの地域をよりよくしていくための
「ふくしのまちづくり」の行動計画です。
この、地区社協を単位とした住民がつくる
計画の策定を、検討していきます。

お墓の清掃に困っていませんか？

平成30年
4月スタート



墓地清掃サービス事業が始まります

「長年引きこもっていたこともあり、働きたくても続けられない。」「大勢の中で働ける自信がない。」「なかなか仕事が見つからない。」 そのような方々が社会へ踏み出すステップアップの場として、墓地清掃サービス事業を開始します。

遠くに住んでいる、または、高齢などの理由で、お墓の清掃やお参りが難しい方に代わり、就労へ向けて相談をしている方々が、清掃や献花などを代行するサービスです。

サービス利用料金

利用回数	利用料金	備 考
1 回	3,500円 1基1回1坪 ※1坪 = 3.3㎡	お墓の広さ、墓石の数により、利用金額が変わります。
	複数回ご希望の方は、 利用料金 × 回数 の金額になります。	

サービスの内容

基本作業	墓地内の除草及び枯葉やゴミ等の掃除と、手作業による墓石の水拭きを行います。 (高圧洗浄機等は使用しません)
供 花 (別途料金)	ご希望により、生花をお供えします。 供花料金 1束 1,500円 ※供花については、時期により価格の変動がありますので、上記金額内で購入できる範囲内でお供えします。 ※宗教の関係で、お花以外でのお供えや造花などのご希望にも対応いたします。 (実費負担となりますのでご相談ください。)
その他	※その他、故人の嗜好品などのお供え物をご希望される場合は送付していただければお墓にお供えいたします。

問い合わせ先 市社協：0287-23-1130

申込みからサービス開始までの流れ



4月1日から 市社協の事務体制係の一部を変更しました。

従来の「地域福祉係」を2係に分け、新たに「自立相談係」を新設しました。主な業務として、生活面の自立に向けた相談や支援を的確にかつ柔軟に対応します。そして、市民の皆様に分かりやすく、相談しやすい市社協を目指します。

平成29年「地域福祉係」

平成30年 地域福祉係

新 設
自立相談係

“生活のことでお困りの方…ご相談ください”

一生活困窮者自立支援事業一

生活上の悩みや経済的な困りごとなど、専門の相談員が相談者と一緒に問題を整理しながら、解決に向けてのお手伝いをします。



相談は、来所または電話によりお受けしますが、窓口に来られない場合には、訪問することもできます。お気軽にご相談ください。

心配ごと相談日・市社協の主な行事予定

日	月	火	水	木	金	土
4/1	2	3	4	5	6	7
			● 心配ごと 13時～16時	● 心配ごと 9時～正午 ちかその思いやり隊 推進会議 19時～20時30分	● 心配ごと 9時～正午	
8	9	10	11	12	13	14
				湯津上地区 社協理事会 19時～20時30分	● 心配ごと 9時～正午	
15	16	17	18	19	20	21
		金田地区おもいやり隊 チーム会議 16時～17時	西部地区協議体 13時30分～15時 西部地区あったか おもいやり隊チーム会議 15時～16時30分	● 心配ごと 9時～正午 東部地区社協役員 理事会合同会議 13時30分～15時	● 心配ごと 9時～正午	
22	23	24	25	26	27	28
				野崎地区見守り隊 チーム会議 18時30分～20時	● 心配ごと9時～正午 紫塚地区見守り隊 新田隊長会議13時30分～15時 金田地区おもいやり隊 新田隊長会議18時30分～20時	
29	30	5/1	2	3	4	5
昭和の日	振替休日		● 心配ごと 13時～16時 東部地区チーム会議 東部地区協議体 13時30分～16時	憲法記念日	みどりの日	こどもの日
6	7	8	9	10	11	12
					● 心配ごと9時～正午 西部地区あったかおもいやり隊 地区会長会議13時～14時 西部地区あったかおもいやり隊 推進会議14時30分～16時30分	
13	14	15	16	17	18	19
			黒羽地区民協説明 14時～16時	● 心配ごと 9時～正午 野崎地区見守り隊 推進会議 18時30分～20時	● 心配ごと 9時～正午 紫塚地区協議体 13時30分～15時	
20	21	22	23	24	25	26
		市社協第1回 理事会 15時～16時	金田地区おもいやり隊 推進会議 18時30分～20時		● 心配ごと9時～正午 東部地区社協総会 13時30分～14時40分 東部地区見守り隊 隊長会議14時40分～16時	
27	28	29	30	31	6/1	2
	紫塚地区見守り隊 推進会議 19時～20時30分				● 心配ごと 9時～正午	
3	4	5	6	7	8	9
			● 心配ごと 13時～16時	● 心配ごと 9時～正午	● 心配ごと 9時～正午 市社協第1回評議員会 13時30分～15時	
10	11	12	13	14	15	16
					● 心配ごと 9時～正午	

★心配ごと相談

※民生委員児童委員が相談に応じます。秘密は守られます。

地 区	会 場	電話番号
● 大田原	市福祉センター	23-1130
● 湯津上	佐良土多目的交流センター	98-3715
● 黒 羽	市社協黒羽支所	54-1849

★ボランティア相談

「ボランティア活動したい」「ボランティア活動して欲しい」などの相談に市社協職員が応じます。

● 月～金曜日 午前9時～午後5時（祝祭日、年末年始除く）

● 場所：市社協本所

※人権相談・行政相談については、市広報紙・「大田原市ホームページ」

（<http://www.city.ohatawara.tochigi.jp/>）をご覧ください。

新規採用職員紹介



わたなべ ひろき

渡邊 大揮

市民の皆様とのかかわりを大切にできる職員を目指して頑張ります。また、市民の皆様と一緒に安心して暮らせるまちづくりを考えていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

あすてらす

あすてらす

（日常生活自立支援事業）とは…

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者に対し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などの援助を行うことにより、自立した生活を送ることを支援するものです。

市町社協（基幹社協）に配置された専門員が利用者の各種相談に応じるとともに、利用者ごとに適切な援助内容を定め、生活支援員が利用者ごとに直接援助を行います。

支援サービスの内容

- ・福祉サービスの利用援助
- ・日常的な金銭管理サービス
- ・書類等預かりサービス

保管できる書類

1. 年金証書
2. 貯金通帳
3. 権利証
4. 契約書類
5. 保険証
6. 実印・銀行印



※預かることができないもの

現金、宝石、書画、骨董品、貴重品、小切手など

あすてらす おおたわら

☎ 0287-23-7375

ボランティアコーディネーターって 知ってる？

活動したい人と、してほしい人をつなぐ専門家

ボランティアコーディネーターはボランティア活動の橋渡しをしたり、相談に応じたりして、誰もが安心して暮らせる地域づくりのため、ボランティア活動の輪を広げていく役割を担っています。

社会参加を
支えるプロ！

受け止める

市民や、企業からの相談を受け止め、一緒に考えます。

創り出す

新しいネットワークや活動のプログラムを創出し、地域に新たな力を創ります。

求める

情報を発信し、活動の場の創出や、ボランティアの募集・開拓を行います。

集める

ボランティアに関する情報を集め、整理し、伝えます。

つなぐ

地域の課題と、活動する人、社会資源、企業を平等につなぎます。

相談してみよう！

「なにか始めてみたいけれど、どうしたらいいのかわからない」そんなモヤモヤした気持ちを抱えている方は多いようです。

ボランティアには普段の生活とは少し違う「出会い」と「喜び」があります。あなたらしさを大切にしながらできることを、一緒に考えてみませんか。

ご相談は…

市社協
ボランティアセンター
巻末まで、
お気軽にどうぞ！

講座情報

初級コース

朗読奉仕員養成講座

広報、本などの読み物を朗読することで、視覚障がい者に必要なサポートをするための技術を学びます。

日時 6月20日(水) より (全16回)
毎週水曜日 10時～12時
会場 那須塩原市健康長寿センター
(那須塩原市南郷屋5丁目163番地)
受講料 無 料
対象者 視覚障がい者の福祉に理解と熱意があり、朗読奉仕員として活動することを希望する方
申込期間 4月2日(月) ～ 20日(金)
申込み 栃木県視覚障害者福祉協会
☎028-625-4990

要約筆記者養成講習会

文字でコミュニケーションのお手伝いをしませんか。要約筆記とは話の要点を書き、聴覚障がい者に内容を伝える通訳のひとつです。

日時 5月12日(土) より (全27回)
毎週土曜日 13時～17時
会場 とちぎ福祉プラザ (宇都宮市若草1-10-6)
受講料 デキスト代4,000円程度
対象者 (1) 要約筆記者を目指す方
(2) 聞こえに支障のない方
定員 手書き10名、パソコン12名
申込期間 4月11日(水)まで
申込み とちぎ視聴覚障害者情報センター
☎028-621-6208



やまのてこども食堂

設立 平成28年12月 運営7人 調理4人 学習支援2人

ボランティア
紹介コーナー

子どもたちに暖かくおいしい食事を提供すると共に、地域の人たちとのつながりを作り、保護者も息抜きすることができる場として、支え合いの輪を広げていきます。学習支援やフードバンク活動と連携することで、子どもたちを総合的に支える拠点にしていくことを目指します。



心を込めて調理しています。

♡活動について

手作りの温かい夕食を、みんなで囲みます。季節の行事を取り入れたメニューの工夫、寄付していただいた食材の活用、そして、いろいろな人と楽しく食事ができる雰囲気作りを心がけています。毎週楽しみにしてくれている子どもたちもいて、「おいしかったよ!」の笑顔がなによりも宝物です。



みんなで食べるご飯は美味しいね!

♡メンバーの声

経済的な困窮だけでなく、ひとりご飯の増加や地域とのかかわりの希薄化などが問題となっています。こども食堂の活動により、地域との交流の中で、元気に豊かに育ってほしいです。

♡伝えたいこと

遠い異国のことではなく、ごくごく身近に問題は存在しています。地域の一員として、ともに子どもたちの健やかな成長を見守っていきましょう。

やまのてこども食堂では、参加者・ボランティアを募集しています!

日時 毎週金曜日 学習支援:15時~18時 こども食堂:18時~20時頃
場所 とちぎボランティアネットワーク県北事務所(大田原市山の手1-9-10)
参加費 子ども 300円 大人 500円 ※金額については相談に応じます。
対象 **誰でも参加できます。**みんなで一緒に楽しく交流しましょう!

<ボランティア募集>

調理ボランティア 16時~18時 準備・調理を行います。
学習支援ボランティア 15時~18時 子どもたちと宿題に取り組みます。
 ※お時間の許す方は、一緒に食事をした後、片付けをお願いします。
申込み とちぎボランティアネットワーク県北事務所 担当:木村さん ☎0287-48-6000

大田原市社会福祉協議会は、みんなの**ふだんのくらしのしあわせ**を応援しています!

【本 所】

浅香 3-3578-17
 大田原市福祉センター内
 ☎ 23-1130・24-0294
 FAX 23-1138

あすてらす
 おおたわら
 ☎ 23-7375

【湯津上支所】

佐良土 853
 佐良土多目的交流センター内
 ☎ 98-3715
 FAX 98-8011

【黒羽支所】

黒羽田町 848
 ☎ 54-1849
 FAX 54-2745

大田原市
 社会福祉協議会
 介護事業所